

北宋五人の皇帝に仕えたに宰相にして究極の技術者、蘇頌の作った

水運儀象台 見学親睦バスツアー

- 水運儀象台**：北宋時代に水駆動で動く時計と望遠鏡を備えた天文台のセット、上部可動式
ヨーロッパに先駆けること 600年早く時計の原理を発明した。20年前に京大から精工舎に設計図が提供され、エプソンと職人のコラボで再建された。その後、中国でも次々と同様のものが造られたが、日本のものをこえることができず、中国各地から下諏訪に見学に来ている。中国大使の孔鉉佑先生は、開封市（北宋の都）副市長当時、下諏訪町訪中団を受け入れ、大使館時代に下諏訪を訪問している。
- 蘇頌**：北宋の丞相、科学者、政治家、外交官、北宋最高の機械学者、薬草の権威「本草図経」の著者、水運儀象台の設計者、1020年生来年は盛大に生誕1000年を祝うとのこと。蘇東坡兄弟と同時に1042年進士及第、親戚でもある



天文台を支える金龍屋根は現代的な可動式



蘇頌の末裔と管北京大学教授の記念撮影

主催：埼玉県日中友好協会

日程：2019年11月16日（土）午前7時大宮駅前集合→11:30 今昔館おいでや下諏訪水運儀象台 12:30 昼食→諏訪大社春宮見学 14:45→諏訪湖 15:30→大宮駅前18:30

料金：お一人様9,800円（40名様にて催行） 申込締切日：10月10日（木）

帰着時間は交通渋滞トイレ休憩などで変更となります*中国語講師同行（途中中国語でご案内します）

参加申込先：NPO法人埼玉県日本中国友好協会

〒330-0835 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1-285 たらこやラボ新都心3号室

TEL：048-782-8049 FAX：048-782-8149

e-mail :saitama.nichu@nifty.com <http://www.jcfa-saitama-or.jp/>

担当：中村・市川・橋本